

# 神崎市発足後の主な出来事

(過去の市報かんざきより抜粋)



80号 (2012年11月号) 60号 (2011年3月号) 40号 (2009年7月号) 20号 (2007年11月号) 創刊号 (2006年4月号)

- 平成18年(2006年)
  - 3月 神崎市発足
  - 4月 合併後初の市長・市議会議員選挙  
初代市長に松本茂幸氏就任
- 平成19年(2007年)
  - 7月 全国高校総体が佐賀県で開催
  - 8月 神崎市合併1周年記念式典開催
- 平成20年(2008年)
  - 1月 神崎市総合計画策定
  - 3月 第1回元氣かんざき市民交流祭開催
- 平成21年(2009年)
  - 2月 高速神崎バス停駐車を整備
  - 7月 神崎市巡回バス運行開始
- 平成22年(2010年)
  - 2月 下村湖人生家、旧古賀銀行神崎支店が佐賀県遺産に認定、姉川城跡国史跡指定
  - 5月 市報かんざき50号 発行
  - 8月 第1回城原川ハンギーマつり開催
  - 10月 小学生の医療費助成開始
  - 11月 神崎市マスコットキャラクター  
(くねんワン・くねんニャン) 完成
  - 11月 神崎菱焼耐が完成
- 平成23年(2011年)
  - 3月 東日本大震災発生
  - 10月 第1回かんざき櫛田の市開催
  - 12月 トヨタ紡織九州ハンドボール部国体優勝
- 平成24年(2012年)
  - 2月 合併5周年かんざきまちづくりフォーラム開催
  - 4月 防災行政無線運用開始
  - 7月 神崎市学校給食共同調理場完成
  - 11月 新・神崎銘菓ひしぼうろが商品化
- 平成25年(2013年)
  - 4月 小・中学生までの医療費助成開始
  - 5月 神崎市四か条の誓いを制定
  - 6月 住みよさランキング(九州・沖縄ブロック)で神崎市が第6位に



◀ (2018年3月号)



▶ (2006年10月号)

## 表紙を飾ったあの人とは？

脊振まるごと大運動会で

三世代による家族の選手宣誓



— 当時の反響は？  
いちばかせ けんいち  
一番ヶ瀬 健一さん  
(脊振町一番ヶ瀬)

— 当時の反響は？  
16年前になります。左端が私です、反響はありましたよ。私が着ている上下の体操服は中学生の頃のもので、「よっ持っとったね!」とみんなから懐かしがられました。

— 市報に期待することは？

市報は大事な情報が載っているの、目を通します。スポーツが好きなので、大きな大会で表彰された子どもたちの記事はよく読んでいます。食事処の紹介やプレゼントコーナーもあればいいですね。

家々に福を呼び込む姉の七福神



なかはら はやと  
中原 勇人さん  
(千代田町姉)

— 当時の反響は？

表紙の写真は4年前のもので、右端で幸領人として水先案内人役をしているのが私ですが、これまで七福神の役は全部やっていますよ。写真を見た人からは「また、しよんね」とねぎらってもらいましたね。350年以上続いているといわれる伝統行事なので、保存会を結成し継承に努めています。

— 市報かんざきに関して

市報は、クラブチームの活躍などスポーツ関連記事は楽しく読んでいます。



100号 (2014年7月号)



120号 (2016年3月号)



150号 (2018年9月号)



160号 (2019年7月号)



180号 (2021年3月号)

- 平成26年 (2014年)
  - 7月 市報かんざき100号 発行
  - 8月 憩の家「仁比山温泉もみじの湯」オープン
- 平成27年 (2015年)
  - 2月 神崎市中央公民館、市立図書館リニューアルオープン
  - 4月 神崎市公式ホームページリニューアル
  - 10月 マイナンバー制度が開始
- 平成28年 (2016年)
  - 3月 市制施行10周年記念式典開催
  - 4月 12年に一度の大御田祭開催
  - 4月 平成28年熊本地震発生 市内でも震度5強を観測
  - 11月 神崎市・ボークール市友好姉妹都市提携20周年

- 平成29年 (2017年)
  - 4月 小・中学生および高校生等までの医療費助成開始
  - 6月 神崎市・吉野ヶ里町葬祭組合が発足
  - 2月 住民票・戸籍証明書等のコンビニ交付スタート
- 平成30年 (2018年)
  - 3月 第2次神崎市総合計画策定
  - 8月 王仁博士顕彰公園が開園
  - 9月 市報かんざき150号 発行
  - 9月 神崎市・吉野ヶ里町葬祭場「和の杜」完成

- 平成31年・令和元年 (2019年)
  - 4月 小学6年生、中学3年生の学校給食費助成開始
  - 5月 元号「令和」に改元
  - 12月 3歳〜5歳幼児教育・保育の無償化開始
  - 12月 「新型コロナウイルス」が発生

- 令和2年 (2020年)
  - 9月 神崎市新庁舎完成
  - 10月 神崎桑菱茶の販売開始
- 令和3年 (2021年)
  - 2月 脊振交流センター完成
  - 5月 新型コロナワクチン接種開始
  - 5月 千代田公民館・図書館千代田分館オープン
- 令和4年 (2022年)
  - 3月 日の隈公園キッズパーク開園
  - 4月 内川修治市長就任
  - 6月 神崎市史販売開始
  - 11月 市報かんざき200号 発行



### 市民に親しまれ、愛される市報に

市民生活に欠かせない情報を

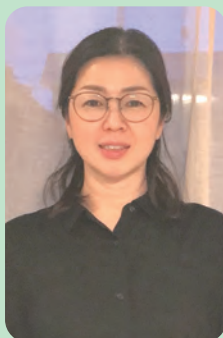
神崎市内の全読み語りグループが所属する『文化の柱 ネットワーク』で代表を務めつつ、神崎町の浄光寺で、子どもからお年寄りまで集えるおてら食堂などを開いて、精力的に地域貢献の活動に取り組んでいます。



後藤 契子さん  
(神崎町四丁目)

市民生活に欠かせない情報を

市報発行200号とのこと、おめでとうございます。神崎市の主な行事は元より細々とした情報発信まで、いつもありがとうございます。これからも市民生活に欠かせないホットなニュースやお役立ち情報、市内で活動されている方々の紹介など、市民に愛される市報を期待しています。



青野 寿子さん  
(神崎町犬の目)

「私たちの住む街を私たちの手で楽しくしたい」という思いから、旧古賀銀行を拠点にした地域交流イベント『かんざきマーケット』の代表をつとめ、神崎の活性化を目指す活動をしています。

### 市民の暮らしに寄り添った記事を

市民の顔が見えるような市報、イベントだけでなく公民館のサークル活動など、もっと普段の市民の暮らしの一角に寄り添った記事を期待します。神崎に住んでいる人たちにスポットをあて、まちのあたたかい話題でほっこり出来るような、開いたときに楽しい気持ちになれる市報になってほしいと思います。



市報かんざきができるまで



2014年5月号

2009年4月号

2006年5月号

2006年4月号

**市報のロゴの移り変わり**

ロゴは、若い世代に少しでも市報に興味を持ってもらいたいという思いから、2014年5月号から市内各学校の児童・生徒による毛筆のロゴに変更しています。

**石田 裕子**

神埼市の遊び場を紹介するページを作成した際に、神埼市の魅力・良いところをどう伝えるかに苦労しました。

**森永 文恵**

平成 19 年 4 月から 4 年間担当しました。表紙を縦写真の全面配置にリニューアルし、毎回素材選びに悩まされていましたが満足いく写真を選ぶことができました。

歴代広報  
担当者が語る！

**南里 英希  
野中 亜佐美**

現在の市報作成を担当しています。取材に行った際は皆さんが優しいので、リラックスして取材をすることができています。改めて市民の皆さんの人柄の良さを実感できるのが良いところです。

**栗山 倫美**

子育て支援に関する特集を作成した際は、子育て世帯やこれから神埼で子どもを育てていきたい人に安心してほしいという思いで作りました。

**川原 慶大**

市報作成時は、とにかく現場に足を運ぶことを意識しました。市報作成を通してさまざまな方と出会うことができ、とても貴重な経験をすることができました。





# まちの話題



## 実戦空手「真道會」 4人がカラテ甲子園へ!

9月30日



市内の道場「真道會」の三井所太陽くん、大地くん兄弟(神埼町本堀)、糸山知里ちゃん、池田虎治くんが予選大会を勝ち抜き、11月20日に東京で開催される「JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会」への出場を市長に報告しました。

この大会は各種選抜大会を勝ち抜いた選手のみが出場でき、「カラテ甲子園」とも称されています。太陽くんは「優勝して、道場を含めて有名になりたい」、大地くんは「兄に負けたくない、優勝・準優勝を狙いたい」と抱負を語り、市長は「良い勝負をしてほしい」と活躍を期待しました。

## ナナズチョイス ダンスチーム「7aNA's Choice」 全国大会出場へ!

9月22日



KOZO(本名:古川耕造さん=千代田町下黒井)が代表を務めるDANCE STUDIO STATUSのダンスチームで、Hachy(本名:八谷拓郎さん=神埼町大門)が振付をしている7aNA'sChoiceのメンバーが、11月13日に福岡市で開催される全国大会出場を市長に報告しました。

同チームには神崎市在住の子どもたちも所属しており、メンバーは「スキルを上げるために日々の練習を頑張っている。保護者や講師への感謝を忘れず、本番も全力で挑みたい」と意気込みを話し、市長は「打ち込めることがあるのは素晴らしいこと。全国大会でも頑張してほしい」とエールを送りました。

## 神埼ジュニア新体操クラブ 予選を制し全国へ!

10月4日



神埼ジュニア新体操クラブのメンバーが、11月18日~20日に群馬県で開催される「全日本ジュニア新体操選手権大会」への出場権を獲得し、市長を訪問しました。

幅広い学年で構成されたチームで、練習はメンバーが自主的に工夫しながら進めているといいます。キャプテンの中尾迅くん(千代田中3年)は「昨年は3位という悔しい結果だったので、今年は日本一になりたい」と目標を語り、樋口諒くん(神埼中2年)は「指導者や保護者へ恩返しができるよう頑張りたい」と話し、市長は「チームワークを活かして、頑張してほしい」と激励しました。

## 神埼清明高校の3年生 介護予防の出前授業

9月30日



神埼町の神陽団地公民館で、福祉を学ぶ神埼清明高校3年生19人が、老人クラブ会員や地域住民に向けた介護予防の出前授業を行いました。高校生と一緒に「かもめの水兵さん」「パプリカ」などの曲に合わせた体操や、頭と体を動かすゲームを行った参加者の間には、終始笑い声があふれました。

体操の後は、高校生がアロマオイルを使って参加者の腕や手指をマッサージ。「とても気持ちよくて若返った」「来年もぜひ参加したい」との声が聞かれました。